

都市再生整備整備計画（案）【北の防人大湊地区】への意見（募集期間：平成23年1月20日～2月10日）

意見番号	意見項目	意見内容	市の考え方
1	観光地名称について	「北の防人」は他でも使用させていることが多く、海上自衛隊など海との関連性が強い大湊ではもっと海強調とした幕末期に我が国の海防論を唱えた勝安房（海軍奉行）の言葉にもじって「北の海防大湊」、または、ダイレクトに「海軍の街大湊」と唄った方が地域性を表し、インパクトが高いと思われる。	明治期からの海軍ゆかりのまちである大湊において、観光地名称としてダイレクトに海軍という表現は一旦さけるものとし、また、北における海の守りとして、「北の防人」。さらに全国に通用する大湊の名が海のまちを表現し、また、この観光地からは優れた芦崎の景観が見渡せる「北の防人大湊」とするものです。
2		「防人」とは、その昔、防衛のため設置された兵を指すのだから、「北の防人大湊」では、意味がわからない。	ちなみに、北の防人大湊という新観光地名は、水源池公園周辺を指す石造建造物群一帯を指しますが、広範囲にわたって都市再生整備計画の北の防人大湊地区としているのは、いち早くこの観光地名を周知浸透することによって、交流の拡大を目指そうとする意図もあります。なお、「海防」のアイデアは、コンセプトに反映させていただきます。使用例として、「海防のまち おおみなと」なども考えられます。実行レベルにおける使い方に関しては、市民・企業などに一任したいところです。また、観光地名称の決定にあたっては、北の防人大湊づくりワークショップからのアイデアによるものであります。
3	位置づけについて	明治、大正の「古さ」等を優先し、観光業者や学識者等から幅広い意見を集めて整備を進めていってはどうか。	既存建造物をいかに利活用するかが、本事業の要と考えており、それら歴史背景などを最大限に活用を図ることとしています。また、ソフト事業の一つとして、北の防人大湊の案内パンフレットの作成などもありますので、それらの作成や運用方法についても観光業者等の意見を参考にしていきたいと考えています。
4	案内看板の設置について	大湊駅に旧大湊町内の海軍施設が一目瞭然で分かるような案内看板を設置してはどうか。	水源池公園周辺以外では、国道沿道での観光案内標識の設置のみを考えていましたが、ご意見を採用し、大湊駅を降りて、北の防人らしさを広報できる案内サインの設置を検討します。
5	旧海軍施設の石碑について	旧海軍に関連した整備を進めていくのであれば、兵士たち所属していた部隊など、海軍施設縁の跡地に石碑を設置して周知してはどうか。 主な海軍施設は下記のとおり 大湊新町：大湊海軍軍需部、海軍共済病院大平分院 大平町：2万トン地下タンク、海軍官舎 山田町：大湊海軍施設部工員養成所 宇田町：大湊海軍経理部、大湊海軍人事部 下北町：大湊海兵団	現状確認を行い、可能であれば、案内サイン等設置に向けての都市再生整備計画の変更が考えられます。
6	ポケットパークの具体化について	ポケットパークの予定地（北の防人大湊エントランス）を、海軍小公園とし、下士官兵集会所にあった噴水付庭園を復元してはどうか。また、水源地一体を指す案内板（文化財案内図）や、小憩エリアにしてはどうか。	水源池公園と北洋館を結ぶ箇所（総監邸記念館向かい側）に現在、北の防人大湊エントランスゾーンを配置する予定です。今後の整備に向けての一つのアイデアとして頂きます。
7	艦隊眺望ポケットパークについて	パンフレットなどの広報手段のなかで、いつでも2艘以上の艦が見れるといった誤解（艦隊眺望）を招くより、むしろ「海上自衛隊大湊基地の一望」とか「護衛艦と飛行場が眺望できる全国唯一の基地」として広報したほうが無難と考える。	ご意見のとおりですので、名称については再検討いたします。
8	登録有形文化財の指定が可能な建造物を残しては？	水雷団長や初期の要港部司令官（後に参謀長官舎）が使用した建物で市内では最も古いと思われる明治35年建設の木造平屋建ての取り壊しが予定されている旧浜谷氏宅の外観や庭を当時の姿に復元し、外回りを見学させてみてはどうか？、また同宅及び石造士官官舎（女子寮・収蔵庫）を登録有形文化財としての指定も可能と考えられる。	財務省管理の旧浜谷邸及びその敷地の利活用について、調査を行い、まちづくりへの活用について検討します。 石造り官舎（女子寮、収蔵庫など）の登録有形文化財として、今後の施設の利活用との関係を考慮しながら検討すべき事項と考えます。 また、市が景観法による景観行政団体となった場合は、景観重要建造物の指定も考えられます。

都市再生整備整備計画（案）【北の防人大湊地区】への意見（募集期間：平成23年1月20日～2月10日）

意見番号	意見項目	意見内容	市の考え方
9	新規の観光交流センターについて	各地における箱ものの失敗例から、新規の観光交流センターは不要と考えるので、例えば、同機能を士官官舎または、学習センターに持たせてはどうか。	各既存建造物の役割、また観光客などの回遊性などの観点から、当該施設を、計画の場所に設置するものです。
10	明治、大正時代、士官官舎の様子を復元しては？	石造士官宿舎（女子寮・収蔵庫）の内、1棟の中に、士官の一戸分を復元し、大正時代の海軍士官の私生活（人物、軍服、製帽、調度品）を再現し、大正時代のノスタルジアを再現し、集客してみたいか。	本事業の性格上、イベント等における、設置は問題ないのですが、博物館のような整備は見込めないため、ノスタルジアの再現について、工夫が必要と考え、今後の検討材料といたします。
11	海上自衛隊施設の観光ツアーの実施	自衛隊施設内の体験ツアーを年に2回程度実施して欲しい。	市役所庁内では、本事業において、庁内組織である企画調整課、秘書広聴課、情報政策課、財政課、管財課、市民スポーツ課、産業政策課、商工観光課、農林水産課、土木課、用地課、都市建築課、生涯学習課、また、海上自衛隊大湊地方総監部から構成される北の防人大湊づくりを推進するためのプロジェクトチームが設置されています。 自衛隊施設内のツアーについても、プロジェクトチームでの検討材料ですので、前向きに検討していくところです。
12	釜臥山登山道の整備について	大湊を象徴する山として、釜臥山があるが登山道の整備が進んでいないため、今回の北の防人大湊づくりの整備と関連して整備を進めて欲しい。	検討してみますが、可能であれば、都市再生整備計画の変更が考えられます。
13	黒松について	水源池公園内にある、第2艦司令長官伏見宮博恭王殿下中将がお手植えされた、立派な黒松をPRして欲しい。	水源池公園もバリアフリー化や、案内サインの設置も図る予定です。
14	観光交流センターについて	観光交流センターなどに、訪れた方を歓迎する「おもてなしスペース」を設けることにより、市民と観光客の交流拡大の機会確保になるのではないか	大目標達成に資するので、積極的に検討します。
15	ゾーニングについて	文化財収蔵庫、旧大湊高校女子寮付近の場所を市民活用スペースとし、学習センターや建設予定の観光交流センター付近を観光ゾーンに分けるなど、活用用途ごとのゾーン分けを行ってはどうか。	活用方法の明確化、各施設の機能（役割）の効果的な配置など、積極的に検討します。